

先端医療科学系専攻

人材養成および教育研究上の目的

先端医療科学系専攻においては、生殖領域から成人病まで各専攻分野における高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。多岐にわたる臓器の生理的機能、臓器疾患の原因、病態、治療を理解し、生化学的手法、分子生物学的手法、生理学的手法・手法を中心に、個体レベルから分子レベルまで広範に手法を修得させ、橋渡しの研究や臨床応用をも視野に入れた研究のできる教育・研究者を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

本専攻は、医学・医療分野の専門的知識を備え生命科学との融合領域で自立した創造的研究が遂行できる研究者や、優れた研究能力と高度の専門的知識を備えた臨床医の育成を目指している。

そのため、入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する次のような人材を求める。

- 1) 先端的な生命科学・医学的知識及び技術を学びたい人
- 2) バイオ・医学・医療等の分野において活躍したい人
- 3) 高度な専門知識と技能を持った臨床医を志す人
- 4) 企業・病院・公的機関等に在籍しながら研究を行い、博士号取得を志す人

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

先端医療科学系専攻には、分子医化学、循環生理化学、分子生殖医学、臨床検査解析学、心疾患病態生理化学、皮膚炎症・感染症免疫学、感染症病態生理学、内分泌・代謝病態生理学、消化器外科病態学、臓器再建・病態外科学、消化器内科病態学、発達小児科学、総合内科診断学、臨床腫瘍学、臨床研究科学の15専攻科があり、院生はいずれかの専攻科のもとで研究を開始する。

本専攻は、免疫・生化・生理・腫瘍・発達・生殖・外科など非常に幅広い分野を網羅しており、以下の項目を重視してカリキュラムや講義を編成する。

- 1) 共通科目として先端医療知識に基づく医療技術を学習する。
- 2) 患者を対象とする臨床研究の遂行にあたって必要な論理や道徳あるいは各種の臨床研究方法を学習する。





- 3) 各専門分野においては、研究課題を抽出し、研究実施計画を作成する。
- 4) 必要な技術・方法論を学び研究を实践する。
- 5) 得られた結果を解析・考察の上、研究会・学会に発表し、更に論文として発表する。

❖ ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

本研究科博士課程では、その教育理念や目的に即する人材を育成するため、各教育課程で必要な単位を修得し、当該分野の専門誌に公表あるいは採択された論文に対する公開審査に合格した者に学位を授与する。なお修了にあつては、以下の点に達していることを目安とする。

- 1) 医科学の分野で広く活躍するのに必要な幅広い知識・技能と問題解決能力を有する。
- 2) たゆまぬ自己研鑽によって、より高度な知識・技能や倫理観を身に着け、医学研究の発展に寄与できる姿勢を有する。
- 3) 国際社会や地域社会に積極的に貢献する意欲や実践力を有する。

